



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

大切な1着を“お直し”で復活させよう



ここのところ「洋服のお直し」の依頼が増えてきているなあと感じます。壊れたり、不具合があったり、サイズが変わったりしても、すぐに新しいものを買うのではなく、気に入ったものを大切に着たいという人が増えているのでしょう。ホームページや SNS などを見て市外や遠方から来てくださる人も多く、『お直しができる店』としての認知度が上がっていることをうれしく思っています。最近うけたまわったお直し依頼の中から、ふたつの事例を紹介しますね。どちらも、同じようなことで困っている人がいると思われる案件です。



小さな穴が数か所あいてしまったニット。ワッパン(お客さま持ち込み)でふさいでほしいとのご依頼でした。まずは穴を修理し、修理したところが隠れるようにワッパンを縫い付けて完成◎ワッパンの配置はお客さまのご希望のとおり。

ダブルコートの傷んだパーツ交換依頼です。トグルボタンとパッチ(紐の付け根の三角パーツ)を再利用し、合成皮革の紐を本革の紐に付け替えました。表面が剥離しかけている飾りのパイピングを外し、シンプルでスッキリした印象に。



洋服のお直しは、ボタン付けや糸のほつれなどのかんたんな修理(リペア)から、大胆に形を変えるような大掛かりなもの(リメイク)まで、その内容は多岐に渡ります。最近では、お客さまのアイデアがお直しのメニューとして定番化すること。たどり着くゴールは同じでも、そこまでの道のりにさまざまなプロセスがあるように、お直しの場合も希望を叶える・実現させるためにいくつかの手段があるんだなあと気づかされます。「そんなやり方があったのか!」と、新たなレシピを手に入れたようなワクワクを感じることもしばしば。そうして少しずつ増やしたレシピは、次に同じような相談をされたときに役に立つのです。アイデアを100%採用することがむずかしい場合でも、これまでのレシピをあれこれ組み合わせ、お客さまと一緒に検討を重ねながらゴールを目指すこともできます。お手元に直したい洋服がありましたら、一度ご相談ください。「こんな風に直せないかな?」とアイデアを聞かせてくださるもよし、完全にお任せくださるもよし! もう着られないかも…とあきらめていた洋服を、ぜひ復活させましょう。

裁縫があまり得意ではない人や、忙しくて時間がないうという人からのお直し依頼も多いです。「こんなかんたんなこと頼んで申し訳ない」と恐縮されるのですが、どうかお気になさらず! ボタンをひとつ付けるだけだとしても、忙しい家事の合間に道具を出して場所を整えて…というのは意外と手間がかかるもの。忙しい時にスーパーでお総菜を買うような感覚で、気軽に頼ってもらえたらうれしいのです◎

自分でできるようになりたいけれどうまくいかなくて…という人も。11月にアトリエ・ブランで初心者向けのワークショップを開催したときにも、そんなお声がありました。2026年はそんな声に応えられるワークショップをたくさん開催できたらと思っています。おたのしみに!

営業案内 (赤い日は休み)

1 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	31	31

OPEN*9:00-CLOSE*18:30<冬時間>

※休みや営業時間に変更になることがあります

福×服

ふくふくチケット

服と暮らし No.109でご案内しました、2026年新春のふくふくチケット。12月15日(月)より先行予約が始まり、すでに多くの方からご予約をいただいております。「技術の安売りをしたくない」という理由から、割引や値引きセールなどをしない方針のわたしたちですが、日頃ご愛顧いただいているお客さまにしっかり還元したいという想いはいつも持っています。感謝の気持ちを伝える手段として企画したのが、ふくふくチケットです。応援して下さるお客さまに喜んでいただきたく、2026年新春は前回の2倍となる100セットを用意しました。12月末現在まだ残っておりますが、1月13日(火)の販売開始までに完売となる可能性があります。購入希望の方はお早目にご予約ください。

2025 年もご愛顧いただきありがとうございました。地域のみなさまのお役に立てるようより一層精進してまいります。新しい年もどうぞよろしく願いいたします。